

株式会社日本触媒

2016年3月期 第2四半期決算説明会



2015年11月6日



日本触媒

長期経営計画

「新生日本触媒2020」の進捗状況と 2015年度業績見通しについて



代表取締役社長
池田全徳

1. 長期経営計画「新生日本触媒 2020」概要
2. 2015年度 上期業績
3. 個別事業動向
4. 2015年度 業績見通し
5. 経営計画 進捗
6. 利益還元策

用語解説

SAP： 高吸水性樹脂
AA： アクリル酸
AES： アクリル酸エステル類
EO： 酸化エチレン

1. 長期経営計画「新生日本触媒2020」概要

2020年のあるべき姿

	売上高	経常利益	ROA	新規製品売上高*
2020年度 長期目標：	5,000億円	500億円	9.5%	470億円
2016年度 中期目標：	3,930億円	340億円	8.5%	290億円

基本指針と事業戦略の方向性

基本指針

- ◇安全・安定な生産活動
- ◇売上よりも収益性を重視

事業戦略の方向性

- ◇既存事業・コア製品の
一層の強化
- ◇新規事業の早期立ち上げ、
新製品の速やかな上市

*新規製品売上高：上市から5年以内の製品売上高の合計

2. 2015年度 上期業績

(単位：億円)	2015年度 上期業績	
	8/5修正発表値	実績値
売上高	1,700	1,671
営業利益	130	164
経常利益	150	182
親会社株主に帰属する当期純利益	115	145
ROA (総資産経常利益率)	7.1%	8.8%
ROE (自己資本当期純利益率)	8.6%	10.7%

為替レート

US\$ = 120.72円
EUR = 134.61円
国産ナフサ価格

US\$ = 121.87円
EUR = 135.11円
48,000円/kL

減収増益 (8/5修正発表値と比べ)

- 減収要因： ・ 原料価格低下
- 増益要因： ・ 販売数量、見込みを上回る
・ スプレッドの拡大

3. 個別事業動向

1) AA/SAP

AA：需給動向

需要	世界需要	約510万トン（2015年推定）
		中期的に年率5%程度の成長を想定
供給	2014-5年に中国を中心に大幅な能力増強計画（需給は軟化を想定）	
	増設計画	世界合計：200万トン弱/年
		うち中国ローカル：130万トン強/年

当期の進捗

設備稼働状況 各拠点高稼働
SAP需要を背景にコスト競争力維持

安全、安定操業の追求：

- ・策定した設備安全対策を確実に実施、継続中
- ・AA/AES生産設備の安全対策を、国内・海外グループ会社に水平展開中



AA プラント

3. 個別事業動向

1) AA/SAP

SAP：需給動向

需要 世界需要 約230万トン（2015年推定）
中期的には年率6～7%の成長を想定

供給 既存大手以外の新興メーカーも参入・増強を計画
2015年 増設世界合計 約30万トン/年
2016年 増設計画世界合計 約10万トン/年

当期の進捗

設備稼働状況 各拠点高稼働

顧客層の多様化・増販
顧客要求に応じた製品展開

2016年6月完工：姫路 SAP 5万トン/年

- ・1系列当りの能力アップ実証
- ・生産性向上の最新技術を立証



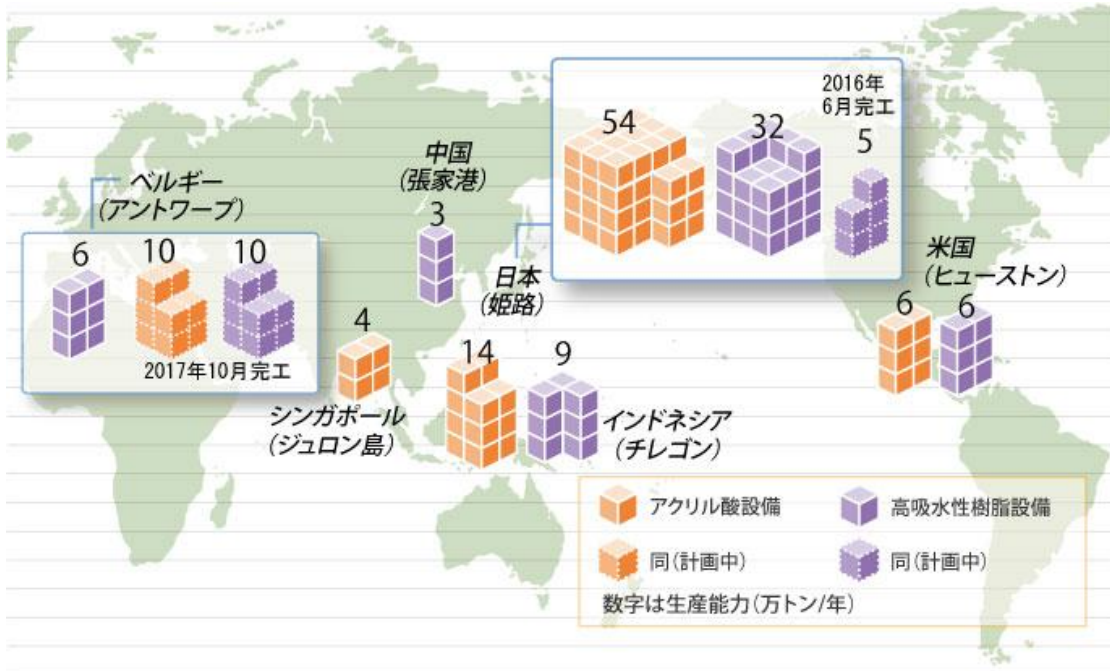
SAPプラント

3. 個別事業動向

1) AA/SAP

長期経営計画における事業基本戦略

- ◆ 高吸水性樹脂は世界トップレベルのシェア及び技術を堅持
- ◆ アクリルモノマー事業もトップを走るグローバルプレーヤーを目指す
- ◆ 持続的成長及びグローバル展開を可能とする競争力を維持・強化



AA/SAP 世界展開状況

増設計画の進捗

生産能力<計画確定分>

単位：万トン/年

	現状	計画	合計
AA	78	10 2017年10月 完工(ベルギー)	88
SAP	56	5+10 2016年6月 完工(姫路) 2017年10月 完工(ベルギー)	71

市場成長に応じ、順次増設を進める

3. 個別事業動向

2) EO

長期経営計画における事業基本戦略

- ◆ 選択と集中、成長市場への進出により事業基盤を強化し、今後ともコア事業として安定したキャッシュフローを創出する

当期の進捗

高級アルコールエトキシレート（ソフタノール[®]）：界面活性剤

- ①高い浸透力 ②低粘度による扱い易さ ③良好な生分解性
⇒ 家庭用液体洗剤向けに需要拡大

増設、海外展開 ⇒ 詳細検討中、来年中に方針決定

水溶性ポリマー（アクアリック[®]）：洗剤ビルダー

家庭用液体洗剤向けに需要拡大

開発に注力 ⇒ 順次採用決定中



洗剤

3. 個別事業動向

3) 機能性化学品

長期経営計画における事業基本戦略

- ◆ ワールドワイドでトップサプライヤーとしての地位を確立
- ◆ 独自製品・技術による市場開拓と成長市場への参入
- ◆ 自社原料をベースとした世界に通じる高機能化学品群の拡充により収益面での一つの柱に育成

当期の進捗

光学材料用アクリル樹脂（アクリビューア[®]）

耐熱性・透明性に優れ **需要・販売拡大**
3,000トン/年プラント建設中
2016年春、合計 9,000トン/年に

シリコニアナノ粒子分散液（シルコスター[®]）

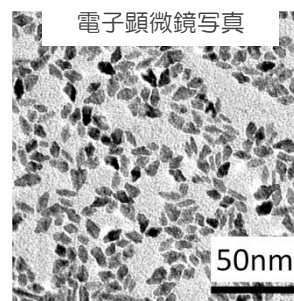
有機溶媒／樹脂に対する分散能に優れ、
高濃度でも透明性を維持する屈折率調整剤
ディスプレイの高画質化・省電力化に貢献
→ **販売開始**

アクリル酸特殊エステル：塗料用原料

自動車用塗料で**販売拡大注力中**



アクリビュープラント



電子顕微鏡写真



シリコニアナノ粒子分散液

3. 個別事業動向

4) 新エネルギー・触媒

長期経営計画における事業基本戦略

- ◆ 新エネルギー関連材料分野を次世代事業の柱の一つとする
- ◆ クリーンエネルギー分野のスペシャリティ材料市場で業界標準となる技術・製品の開発と市場開拓の加速

当期の進捗

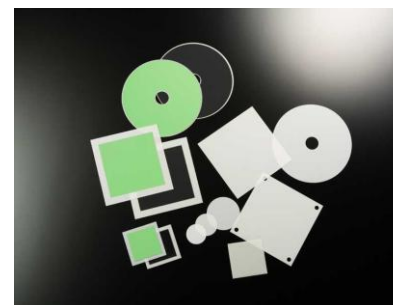
リチウムビスフルオロスルホニルイミド<LiFSI> (イオネル[®])

リチウムイオン電池用の高性能電解質、長寿命化添加剤
販売拡大中、自動車電池用評価も本格化

燃料電池用ジルコニアシート・セル

SOFC (固体酸化物形燃料電池) の心臓部材
新たな顧客要望に対応

→ 次世代品を本格投入へ



ジルコニアシート・セル



LiFSI

3. 個別事業動向

5) 新規事業・開発品

新規事業

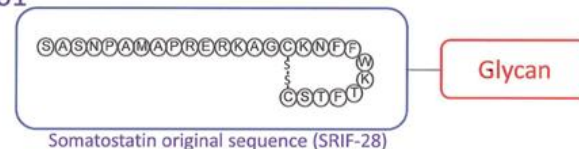
- ◆ 新たな事業ドメインとして健康・医療分野への**参入**目指す
- ◆ **戦略投資**の活用

(株)糖鎖工学研究所と業務提携および資本提携

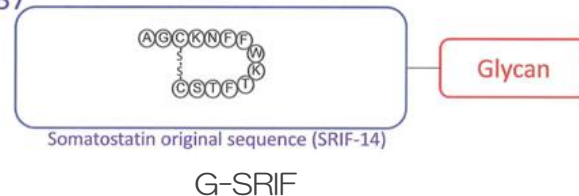
糖鎖修飾ソマトスタチンアナログ(G-SRIF)の共同開発
当社、ペプチド原薬合成研究施設を設置
(吹田地区研究所内に、2016年9月完工予定)

→ **ペプチド医薬事業に参入**

GT-02001



GT-02037

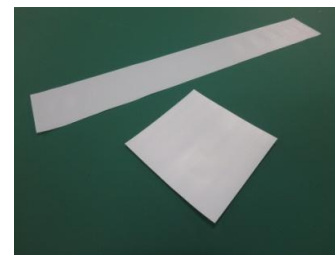


開発品

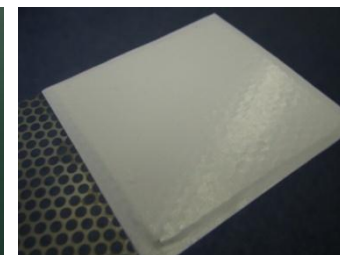
イオン伝導性フィルム及び一体型亜鉛電極

安全・安価な亜鉛二次電池の新規セパレータ部材と
それを用いた一体型亜鉛電極を開発

→ **寿命を10倍以上改善**



イオン伝導性フィルム



一体型亜鉛電極

4. 2015年度 業績見通し

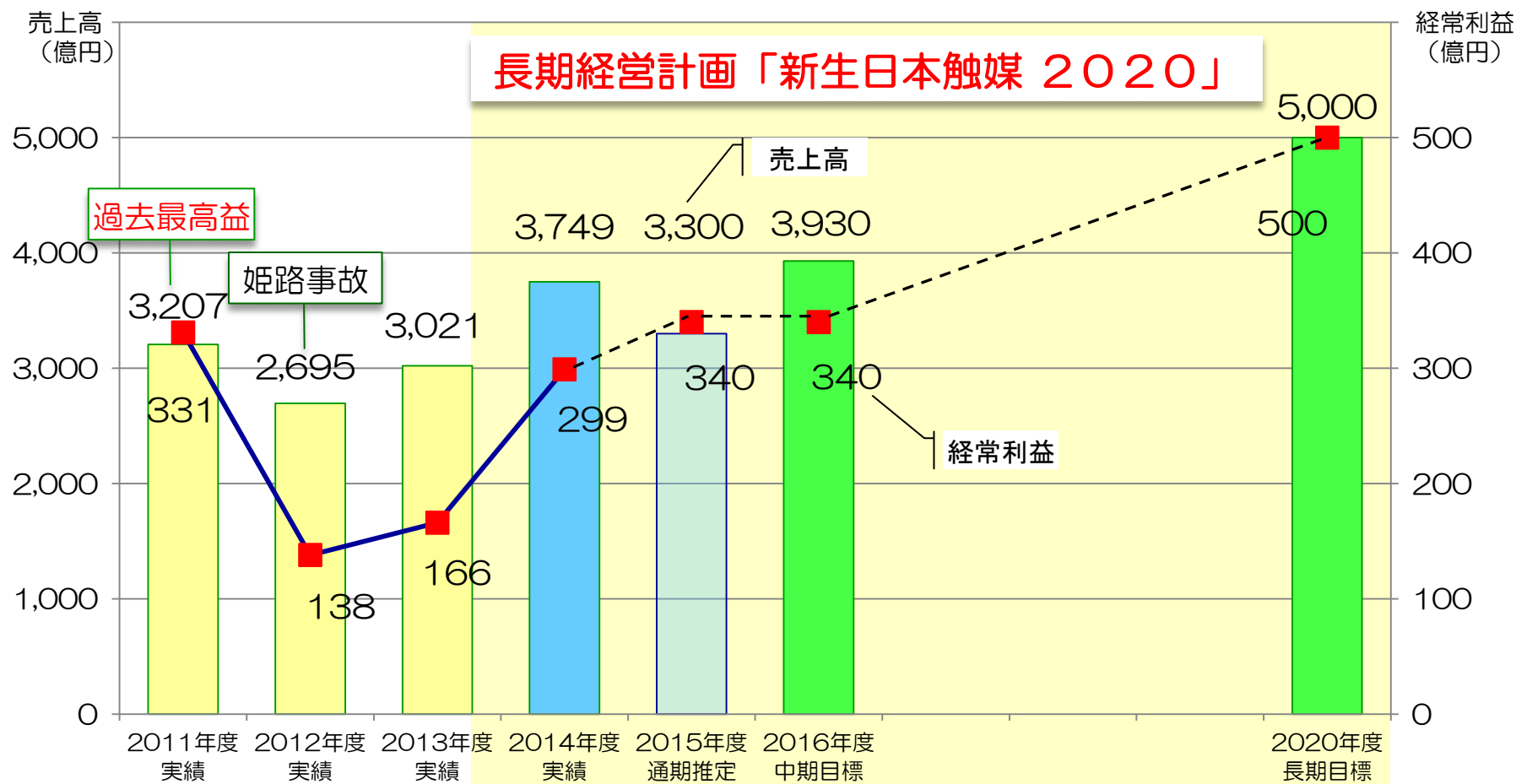
(単位：億円)	2014年度	2015年度		
	通期実績	上期実績	下期予想	通期推定
売上高	3,749	1,671	1,629	3,300
営業利益	261	164	146	310
経常利益	299	182	158	340
親会社株主に帰属する当期純利益	191	145	105	250
ROA (総資産経常利益率)	7.3%	8.8%	7.5%	8.0%
ROE (自己資本当期純利益率)	7.6%	10.7%	7.6%	9.1%
為替レート	US\$ = 109.88円 EUR = 138.68円	US\$ = 121.87円 EUR = 135.11円	US\$ = 120円 EUR = 135円	US\$ = 120.94円 EUR = 135.06円
国産ナフサ価格	63,500円/kL	48,000円/kL	45,000円/kL	46,500円/kL

計画達成へ向けて

- ・ 安全安定な生産活動
- ・ 販売数量の確保
- ・ 適正なスプレッドの確保
- ・ 全社連携による新規製品の速やかな上市
- ・ 収益改善活動の継続
- ・ 原料等安価調達、物流コスト・経費削減

通期：経常利益及び当期純利益、過去最高見込む

5. 経営計画 進捗



中期および長期目標前提条件：
 国産ナフサ価格 65,000円/kL, US\$=100円、EUR=130円

6. 利益還元策

事業拡大や企業体質の強化等を総合的に勘案しつつ、
連結業績の動向を見通し、中長期的水準の向上を目指した配当を行う

2014年度配当
当期純利益 191億円

120円/株

過去最高の配当額

前年度に対し**40円/株の大幅増配**

円/株	中間	期末	合計
普通配当	55	65	120

2015年度配当（予想）
当期純利益 250億円

130円/株(当初) → 140円/株

過去最高額を更新

前年度に対し**20円/株の連続増配**

円/株	中間	期末	合計
普通配当	65	75	140

(注)各年度の配当額はすべて、2015年10月1日の株式併合（5株を1株に併合）実施後の株式数をもとに表示しております。

	2014年度<増額>	2015年度（予想）	2013~15年度平均
配当性向	25.5%	22.7%	25.3%

おことわり

本資料は、投資判断の参考となる情報提供を目的としているものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。また、記載されている内容は、資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した内容を含んでおり、記載された内容を確認したり、保証するものではありません。

実際の業績は、様々な要因により、異なる結果となる場合があります。

お問合せ先：

株式会社日本触媒 経営企画室 I R・広報部

東京都千代田区内幸町1-2-2 日比谷ダイビル

TEL： 03-3506-7605

FAX： 03-3506-7598

URL： <http://www.shokubai.co.jp>